

組織目標評価報告書（令和4年度）

部局名： **環境管理センター**

部局長名： **寺東宏明**

| 目 標 | 目標の達成状況(成果)及び新たに生じた課題への取組 (部局での検証とそれに対する取組) |
|--|---|
| ①教育領域 | |
| <p>1. 法定のものを含む環境分野ならびに環境管理センターの業務に関連する教育訓練を関連部局と協力し、実施する。</p> <p>2. 環境分野ならびに環境管理センターの業務に関連する教育教材を作成し、公開する。</p> <p>3. 環境分野ならびに環境管理センターの業務に関連する学部教育・大学院教育に参画し、本学の環境教育に貢献する。</p> <p>4. 環境分野ならびに環境管理センターの業務に関連する教職員対象の講習等を実施し、全学的な環境マインドを醸成する。</p> | <p>1. 環境分野ならびに環境管理センターに関する教育訓練を20回実施した。</p> <p>2. 環境分野ならびに環境管理センターの業務に関連する教育教材を13作成し、公開した(水質管理基礎、水質管理(化学物質取扱者)、水質管理(実務入門)、化学物質管理(実務入門)、廃棄物管理(実務入門)、環境マネジメント(実務入門)、廃液処理技術指導員講習(新規登録者対象)、廃液処理技術指導員継続講習会(既登録者対象)、化学物質管理(実務情報)、水銀含有機器取扱説明会、環境コンプライアンス講習、プラスチック資源循環法の対応に関する講習会、水質管理規程及び同規程実施要項改正に関する説明会)。</p> <p>3. 環境分野ならびに環境管理センターに関する学部教育・大学院教育の講義を分担担当(出前講義5回、安全衛生入門1コマ)し、全学的な環境マインドの醸成に貢献した。</p> <p>4. 環境分野ならびに環境管理センターに関する教職員対象の講習等を14回実施した。</p> |
| ②研究領域 | |
| <p>1. 環境分野ならびに環境管理センターの業務に関連する情報を収集調査し、本学の環境マネジメントに活用する(目標、報告書、その他資料等)。</p> <p>2. センター教職員ならびにその業務に係る教職員は環境分野に関する研究成果を論文として公表する(センターとして1編以上)。</p> <p>3. センター教職員ならびにその業務に係る教職員は環境分野に関する研究成果を学会で発表する(センターとして1回以上)。</p> <p>4. センター教員は学部研究資金獲得のための応募を行う(センターで1件以上)。</p> <p>5. センター教員は学内外における共同研究を推進する(センターで1件以上)。</p> | <p>1. 環境分野ならびに環境管理センターの業務に関連する情報を収集調査し、環境目標や環境報告書などの作成及び化学物質管理の法令改正への対応に活用し、本学の環境マネジメントに活用した。</p> <p>2. センター教員が環境分野に関する研究成果を論文として2編公表した。</p> <p>3. センター教員が環境分野に関する研究成果を学会で7回発表した。</p> <p>4. センター教員は研究費獲得のための応募を行い、うち2件採択された。</p> <p>5. センター教員は学内外における共同研究を推進した(3件)。</p> |
| ③社会貢献(診療を含む)領域 | |
| <p>1. 環境報告書ならびに環境目標等の公表を通じ、ステークホルダーとの環境コミュニケーションを図るとともに本学が社会的責務を果たすことに寄与する。</p> <p>2. 学内外組織ならびに学生との連携により、地域における環境活動を推進する。</p> | <p>1. 環境報告書を公表し、ステークホルダーとの環境コミュニケーションを図った。</p> <p>2. 学内外組織ならびに学生との連携により、エコナイト及びクリーンキャンパス等を開催した。</p> |
| ④管理運営領域 | |
| <p>1. センター教職員ならびにその業務に係る教職員は協力してセンターの業務を円滑に遂行する。</p> <p>2. センター教職員ならびにその業務に係る教職員の業務範囲とその分担を明確化し、センター業務の改善と効率化を図る。</p> <p>3. センター運営委員会と関連部会の見直しと活性化に務め、全学的な環境関連実務に貢献する。</p> | <p>1. センターの業務(廃液受入、排水管理、作業環境測定、化学物質監査、化学物質管理システムの運用・管理、環境報告書作成など)を円滑に遂行した。</p> <p>2. 今年度末退職する教員の担当業務を新任教員に引き継げるように業務範囲、分担を整理した。</p> <p>3. センター運営委員会(令和4年4月12日、5月19日、6月28日(メール会議)、10月28日、令和5年3月2日)を開催した。</p> |
| ⑤センター・機構等業務 | |
| <p>1. 環境マネジメント委員会等、環境施策に係る委員会の円滑な開催に務める。</p> <p>2. 環境報告書を作成し、本学の環境活動の公開に貢献する。</p> <p>3. 本学の環境施策の立案に関与し、本学の環境法令遵守に貢献する。</p> <p>4. 化学物質管理システムの効果的運用を行うとともに化学物質監査を実施し、本学の研究の発展に安全面ならびに法令遵守の面で貢献する。</p> <p>5. 関連部局と協力し、廃液受入、排水管理及び作業環境測定業務を行い、本学の環境安全衛生管理に貢献する。</p> <p>6. 特定施設(流し等)のデータベース化及び管理体制の整備を行い、周辺環境の保全に努める。</p> <p>7. 業務計画に示す法定報告及び届出を行うことにより、本学の環境関連実務に貢献する。</p> | <p>1. 環境マネジメント委員会(3回)、関連部会(環境マネジメント部会1回、化学物質管理部会1回)を開催した。</p> <p>2. 環境報告書を作成し、本学の環境活動の公開に貢献した。</p> <p>3. 2022年4月施行「プラスチック資源循環法」への対応に関する通知文書、岡山大学における排水・廃液の取扱いに関する資料を作成し、本学の環境法令遵守に貢献した。</p> <p>4. 化学物質管理システムの効果的運用を行うとともに化学物質監査を1研究科2学部59研究室に対して実施し、本学の研究の発展に安全面ならびに法令遵守の面で貢献した。</p> <p>5. 関連部局と協力し、廃液受入(17回)、排水管理(津島地区排水分析検査月1回、津島地区立入採水対応2回、鹿田地区の立入検査対応5回)及び作業環境測定(19回)を行った。</p> <p>6. 特定施設(流し等)のデータベース化及び管理体制の整備を行い、周辺環境の保全に努めた。</p> <p>7. 業務計画に示す法定報告及び届出(「第一種指定化学物質の排出量及び移動量の届出書」、「ポリ塩化ビフェニル廃棄物等の保管及び処分状況等届出書」)を行った。</p> <p>また、岡山市立入検査対応としての届出(「特定施設設置届出書」、「特定施設使用廃止届出書」、「特定施設設置届出書」、「特定施設使用廃止届出書」、「特定施設設置(変更)許可申請書」、「特定施設使用廃止届出書」)を行った。</p> |

注1) 本様式全体が1ページに収まるよう作成してください。

注2) 自己評価による達成度(5~1)は非公表項目とし、組織目標評価結果を公表する際に消去します。